

## 外郭団体評価調書【株式会社用】

### 1. 基本情報

平成24年7月1日 現在

団体名	株式会社 まちづくり豊栄		
所在地	新潟市北区東栄町1丁目1番18号		
代表者(職・氏名) (所属・職)	代表取締役 金城道夫	電話番号	025-386-1212
	豊栄地区自治連合会会長	ホームページ	<a href="http://www.toyosaka-tmo.com">http://www.toyosaka-tmo.com</a>
市所管課	北区役所産業振興課	電子メール	<a href="mailto:tmo@icss.jp">tmo@icss.jp</a>
基本財産 (基本金)	33,300 千円	設立年月日	平成15年7月30日
出資者	氏名・団体等名称	出資等額	出資等比率
	新潟市	16,650 千円	50.0 %
	一般株主(市民・企業)	16,650 千円	50.0 %
		千円	%
		千円	%
		千円	%
設立目的	事業者や市民、新潟市などの出資による第三セクター特定会社による事業推進により、中心市街地及びまちづくりの活性化を図る。		
経営理念 経営方針	まちづくりを通じて、地域の賑わいと安らぎをもたらす会社をめざす ・環境を大切にし、地域のくらしに貢献する企業を目指す ・社会的信頼・信用の高い企業		

2. 主要事業

事業名			事業概要				
観光業務受託事業			観光協会管理運営業務, 観光PR事業及び特産品PR事業を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
—	—	収入額	千円	3,000	3,000	3,000	3,000
活動指標・成果目標			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①会員の獲得	計画	人		116	120	112	110
	実績			116	110	108	
②PR事業	計画	回		11	12	10	11
	実績			10	9	7	

事業名			事業概要				
TMO管理運営事業			中心市街地活性化事業の推進及び支援を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
—	—	収入額	千円	0	0	0	0
活動指標・成果目標			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①葛塚市の活性委員会開催	計画	回		0	0	0	0
	実績			0	0	3	
②個店支援	計画	店		68	65	65	63
	実績			63	63	60	

事業名			事業概要				
ふれあいセンター管理運営業務受託事業			ふれあいセンターの受付け業務を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
—	—	収入額	千円	1,620	1,626	1,633	1,639
活動指標・成果目標			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①利用回数	計画	回		2,690	2,600	2,830	2,750
	実績			2,532	2,826	2,732	
②利用人数	計画	人		35,800	36,900	36,500	33,730
	実績			36,759	36,359	33,714	

事業名			事業概要				
とよさかシール会業務受託事業			とよさかシール会業務受託事業				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
—	—	収入額	千円	240	240	240	240
活動指標・成果目標			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①運営委員会	計画	回		10	10	10	10
	実績			7	6	7	
②加盟店	計画	店		98	95	90	85
	実績			92	87	84	

事業名			事業概要				
ヤマザキショップ豊栄駅店収益事業			ヤマザキショップ豊栄駅店の経営を行う。				
事業区分	主体区分	収支区分	単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度(予算)
—	—	支出額	千円	29,939	29,256	27,732	29,090
活動指標・成果目標			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
①Yショップ売上げ	計画	千円		31,936	31,933	30,194	29,528
	実績			31,003	29,604	28,122	

3. 組織等の状況

(1) 役職員数の状況

(単位：人)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
役員数	14	11	11	11
常勤	0	0	0	0
市派遣				
市職員OB				
プロパー役員				
他団体からの派遣				
非常勤	14	11	11	11
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任	12	10	10	10
その他	2	1	1	1
職員数	10	10	14	14
常勤	1	1	1	1
市派遣				
市職員OB				
プロパー職員	1	1	1	1
他団体からの派遣				
非常勤	9	9	13	13
市兼任				
市職員OB				
他団体兼任				
その他臨時・嘱託等	9	9	13	13
見直し等の取組み				

(2) 職員の状況(市派遣職員を除く。)

(単位：人)

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
職員の状況	管理職	1	1	1	1
	一般職	9	9	13	13
	合計	10	10	14	14
年齢構成	20代以下	0	0		
	30代	4	4	4	4
	40代	2	2	2	2
	50代	1	1	4	4
	60代以上	3	2	4	4
	合計	10	9	14	14

( 3 ) 役員報酬・職員給与等の状況

( 決算 単位：千円 )

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度予算
報酬・給与等	7,211	7,321	11,435	11,490
内 市職員分	0	0	0	0
役員	0	0	0	0
常勤				
内 市職員分				
非常勤				
内 市職員分				
職員	7,211	7,321	11,435	11,490
常勤	2,412	2,412	2,412	2,412
内 市職員分				
非常勤	4,799	4,909	9,023	9,078
内 市職員分				
平均年収（市職員を除く。）				
常勤役員				
常勤職員	2,412	2,412	2,412	2,412
見直し等の取り組み	ヤマザキショップ豊栄駅店の非常勤職員の引継ぎ、交代時間の短縮	ヤマザキショップ豊栄駅店非常勤職員の新規見習い日数の短縮	ヤマザキショップ豊栄駅店非常勤職員とうどん・そば屋(一片食)の新規見習い日数の短縮。うどん・そば屋(一片食)の出面1名体制の検討	うどん・そば屋(一片食)7月末をもって存続の可否を判断

( 4 ) 給与等の適正化の状況（市派遣職員を除く。）

現在の給与体系		今後の見直し予定	
	団体独自の給与体系	有	予定時期 年度～
	市の給与体系を準用	無	
	その他〔 〕	その他〔 〕	

4 . 財務の状況

( 1 ) 損益計算書

( 決算 単位 : 千円 )

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	
経常損益	営業損益	営業収益(売上高)	39,454	38,611	38,599
		営業費用	37,305	38,781	46,013
		売上原価	25,310	25,160	25,757
		事業費	0	0	
		販売費・一般管理	11,995	13,621	20,256
	営業損益	2,149	170	7,414	
	営業外損益	営業外収益	99	213	34
		営業外費用	42	38	2
		営業外損益	57	175	32
経常損益	2,206	5	7,382		
損特別	特別利益	0	5	5,936	
	特別損失	0	0	3,386	
	特別損益	0	5	2,550	
税引前当期損益		2,206	10	4,832	
法人税,住民税及び事業税		743	190	184	
当期損益		1,463	180	5,016	
前期繰越損益		212	1,253	1,073	
当期末処分損益		1,251	1,073	3,943	
処利 分益	利益処分額	0	0	0	
	次期繰越損益	0	0	0	

( 参考 )

( 決算 単位 : 千円 )

(別掲)人件費	7,573	7,705	11,775
役員分	0	0	0
職員分	7,573	7,705	11,775

(2) 貸借対照表

(決算 単位：千円)

		平成21年度	平成22年度	平成23年度
資産の部	資産の部合計	40,526	38,571	32,883
	流動資産	34,161	26,905	26,681
	現金預金	30,253	23,537	24,604
	受取手形	0	0	
	未収金	2,692	1,908	807
	有価証券	0	0	
	その他流動資産	1,216	1,460	1,270
	固定資産	6,327	11,666	6,202
	有形固定資産	4,795	10,141	4,667
	無形固定資産	57	57	57
	その他投資等	1,475	1,468	1,478
	繰延資産	38	0	
	負債の部	負債の部合計	5,973	4,198
流動負債		3,427	2,743	3,162
短期借入金		0	0	
その他流動負債		3,427	2,743	3,162
固定負債		2,546	1,455	364
長期借入金		0	0	
その他固定負債	2,546	1,455	364	
純資産の部	純資産の部合計	34,552	34,373	29,357
	資本金	33,300	33,300	33,300
	法定準備金	0	0	
	剰余金	1,252	1,073	3,943
	うち当期末処分損益 (当期損益)	1,252 1,463	1,073 180	3,943 5,016
負債の部及び純資産の部合計		40,525	38,571	32,883

(3) 市財政支出等の状況

(決算 単位：千円)

		平成21年度	平成22年度	平成23年度
市財政支出等の合計		4,769	3,842	1,633
補助金	補助金	0	0	0
	事業費補助金			
	運営費補助金			
	設備投資に係る補助金			
	負担金			
交付金				
委託料	委託料	4,769	3,842	1,633
	内 随意契約額	4,769	3,842	1,633
貸付金(期中借入額)				
出資・出捐金(追加額)				
その他				
貸付金残高				
損失補償契約に係る債務残高				
損失補償限度額				
その他財政援助の状況 (税や使用料の減免, 建物の無償貸与等)	事務室の使用料減免 (25%) 使用面積11.25㎡			

随意契約額とは、市との一者随意契約による委託料及び非公募による指定管理者料をいう。

(市財政支出等がある場合) 目的, 内容, 必要性, 増減理由等

- ・ふれあいセンター受付業務委託料
- ・ふれあい交流拠点調査業務(H20～H22)

5. 経営改善状況（評価指標）

評価基準に満たない場合は、網掛けセルに太字斜字体が表示されます。

（1）財務の健全性

指標		平成21年度	平成22年度	平成23年度
経常損益		2,206 千円	5 千円	<b>7,382</b> 千円
当期損益		1,463 千円	<b>180</b> 千円	<b>5,016</b> 千円
自己資本比率	純資産	85.3 %	89.1 %	89.3 %
	純資産 + 負債			
流動比率	流動資産	996.8 %	980.9 %	843.8 %
	流動負債			
固定長期適合率	固定資産	17.1 %	32.6 %	20.9 %
	固定負債 + 純資産			
借入金依存度	借入金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	資産の部合計			
剰余金（欠損金） 純資産 - 資本金（基本金）		1,252 千円	1,073 千円	<b>3,943</b> 千円
資金運用	基本財産としての 有価証券の保有	有 →	運用方針を明文化し、それに従って運用している。	
			資金運用利率は市場金利の水準を確保している。	
			資金運用に関する情報収集に努めている。	
			元本割れのリスクはない。	

（2）団体の自立性

指標		平成21年度	平成22年度	平成23年度
市職員比率	常勤職員数（市職員）	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	常勤職員数			
財政的依存度	市財政支出	12.1 %	9.9 %	4.2 %
	経常収益			
運営費補助比率	市運営費補助金	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	経常収益			
随意契約比率	市随意契約額	100.0 %	100.0 %	100.0 %
	市委託料			

## ( 3 ) 経営の効率性

指標		平成21年度	平成22年度	平成23年度
総資本経常利益率	経常利益	5.4 %	0.0 %	22.4 %
	資産の部合計			
売上高経常利益率	経常利益	5.6 %	0.0 %	19.1 %
	売上高			
総資本回転率	売上高	1.0	1.0	1.2
	資産の部合計			
職員 1 人当たり 売上高	売上高	3,945 千円	3,861 千円	2,757 千円
	職員数			
職員 1 人当たり 経常利益	経常利益	221 千円	1 千円	527 千円
	職員数			
売上高販管費比率	販売費及び一般管理費	30.4 %	35.3 %	52.5 %
	売上高			
職員 1 人当たり 管理費	販売費及び一般管理費	11,995 千円	13,621 千円	20,256 千円
	職員数			
人件費比率	人件費	19.2 %	20.0 %	30.5 %
	売上高			
役員人件費比率	役員人件費	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	人件費			



(4) 経営の適正性

中長期計画の策定状況	
有	計画名称〔ステップ・アップ2016〕 計画期間 平成21～平成28年度
概要・数値目標	
中期（平成21年度～平成23年度） 長期（平成24年度～平成28年度） <概要>・空き店舗活用による新規収益事業・賑わい創出・商品開発と販売システムの構築 <数値目標>・ヤマザキショップ豊栄駅店の初年度赤字の解消 ・ヤマザキショップ豊栄駅店の50万円以上黒字の維持 ・新規事業の初年度黒字 ・新規事業の2年目以降100万円以上黒字	
無	未策定理由

経理の適正化の取組み			
専門家による監事・監査役就任	専門家による会計指導		
有	就任時期 年度～ 依頼先職種〔 〕	有	依頼時期 平成15年度～ 依頼先職種〔公認会計士(有)風間会計社〕
無		無	

事務処理改善の取組み	
有	取組内容 平成22年度～ 株式会社まちづくり豊栄事務専決規程
無	

人材育成の取組み	
有	取組内容 年度～
無	

情報公開に関する規定の整備状況			
有	策定時期 平成 年度～ 規定名称〔 〕	団体ホームページ掲載	定款等 平成22年度～
無	未整備理由 規程を整備するほどの事業規模にないという判断でしなかったが、必要性を含めて検討する。		事業内容 平成19年度～
			役員名簿 平成19年度～
			役員報酬 年度～
			事業報告 平成19年度～
			損益計算書 年度～
			貸借対照表 年度～
			事業計画書 平成19年度～
		予算概要 平成22年度～	

6. 経営改善状況（個別の取組み）

（1）平成22年度評価調書【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
地域全体の物流をつくる（ブランド化によるまちづくり，賑わい創出） （平成23年度評価においても，【今後の取組み】として設定）					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		物語をまとめるまでには至らなかったが、北宝隊との連携により、松浜と葛塚のまち歩き講座をサポートした。			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	引き続き、物語（ストーリー）づくりの継続			
	実施事項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	2ヶ月に1回の勉強会を実施	ストーリー完結	具体的プラン作成	継続	継続

今後の取組み					
ヤマザキショップ豊栄駅店の黒字経営を維持する （平成23年度評価においても，【今後の取組み】として設定）					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外販商品の販路拡大（会議用・イベント用飲料）</li> <li>・売れ筋商品の発掘（山形・酒田産 麴入り塩納豆・青菜おみ漬）</li> <li>・Suicaの導入</li> </ul>			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の入れ替え（売れ筋商品の発掘）</li> <li>・経費の節減</li> </ul>			
	実施事項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	会議用・イベント用飲食の販売	継続	継続	継続	継続
	商品の入れ替え（売れ筋商品発掘）	継続	継続	継続	継続

今後の取組み					
施策ごとに小委員会を編成し，推進力を強める （平成23年度評価においても，【今後の取組み】として設定）					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		「うどん・そば屋」小委員会において運営を推進した			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「うどん・そば屋」の小委員会において今後の運営処理を検討する</li> <li>・国交省から打診のあった「道の駅豊栄」受入れについて，5月に小委員会（3人）を立ち上げ検討を進めている。</li> </ul>			
	実施事項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	事案毎の小委員会を編成し推進力を強める	継続	継続	継続	継続

(2) 平成22年度評価調書【総合評価】における「今後の取組みに対する評価，改善指示事項」の改善状況

今後の取組み					
中長期計画に掲げた事業毎に具体的なアクションプランを作成されたい。					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		新規収益事業のうどん・そば屋は，国からの補助金の急な決定に合わせて開店準備に取り組んだため，アクションプランは作らなかった。			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	うどん・そば屋のアクションプランは作っていないが，事業の進捗状況により作成するように努める。 今後の新規収益事業については具体的なアクションプランを作成した上で，実施する。			
	実施事項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	アクションプランの作成	アクションプランの見直しと次なるアクションプランの検討	第二弾アクションプラン作成	継続	継続

(3) 平成23年度評価調書【今後の取組み】の改善状況

今後の取組み					
新規収益事業の経営安定化を目指すとともに，採算が取れない場合の撤退時期の見極め					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		営業時間の変更、従業員の入れ替え、メニューの変更、仕入先の変更のほか，チラシによる広報等あらゆる検討を加えたが残念ながら成果を上げることはできなかった。			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	委託による営業の継続か売却か24年7月末に決断予定			
	実施事項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	収益事業としての見極め	H24.7末継続か撤退か	継続新規事業発掘	継続新規事業発掘	継続新規事業発掘

(4) 平成23年度評価調査【総合評価】における「今後の取組みに対する評価, 改善指示事項」の改善状況

今後の取組み					
新規事業である「うどん・そば店」の売上げを伸ばすための方法の検討					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		営業時間の変更、従業員の入れ替え、メニューの変更、仕入先の変更のほか、チラシによる広報等あらゆる検討を加えたが残念ながら成果を上げることはできなかった。			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	補助金の関係から経産省の指示も受けながら、委託による営業継続か売却かを24年7月末をもって決断する予定。			
	実施事項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	工程 的確な判断	判断に応じた処理	第二弾の検討	継続	継続

今後の取組み					
ブランド化によるまちづくり, 販い創出事業に関して, 会社, 行政, 商工会, 自治会等の関係機関とのネットワーク強化が必要である。					
改善・対応区分		改善・対応済み	改善・対応中	検討中	実施しない
これまでの改善・対応内容		個々の施策を通して、各種イベント・行事に積極的に参画し、ネットワークづくりに取り組んだ。			
今後の改善・対応	今後の改善・対応方針等	キテ・ミテ・キタクの取組み(事務局)阿賀野川ござれや花火(協賛)北区農水産物研究協議会(構成団体)等の取組みの中で、各構成団体(行政, 商工会, 農業振興協議会等)とのネットワークの強化を図る。			
	実施事項	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	工程 中心的構成団体としての参画	継続	継続	継続	継続

7. 評価の結果

【団体の評価コメント】

財務の健全性	<p>当期損益5,016千円のすべてが、「うどん・そば屋（一片食）」の損益であり、収支改善の見込みが立たないまま継続することは、健全性を危うくすることになる。早期の的確な判断が必要である。</p>
団体の自立性	<p>市からの出資（50%）はあるものの、補助金や市職員の受入れもなく、市財政支出が4.2%あるのみの状況からは、自立性は十分といえるが、収益事業の規模があまりにも小さく脆弱である。</p>
経営の効率性・適正性	<p>「うどん・そば屋（一片食）」の大幅なマイナス計上により経営上のあらゆる指標が悪化し、売上高に対する販売費及び一般管理費の比率も52.5%と50%を超えた。数値目標としたヤマザキショップの初年度分赤字の解消も50万円黒字も達成できなかった。一片食を今後どうするかがすべてといってよい。</p>
その他	<p>市の3年間の調査事業を経て、当社の事業として展開している豊栄駅前時間貸駐車場は、23年度は大雪による冬季の売上減少のため、わずか2万円の赤字となってしまったが、今年度に入り、ようやく認知され稼働率も向上傾向にある。</p>
総括的な所見	
<p>「うどん・そば屋」の収益事業としての成功には至らなかったが、23年2月1日の補助金交付決定から東日本大震災があり、工事の遅延、メニューの研究不足、従業員の教育不足、電力不足、経済全般の不況等々とりまく環境が悪すぎた中ではあったが、一歩先に踏み出すことができたような達成感もある。</p>	

【所管課による評価】

現状に対する評価	<p>空き店舗を活用した、新規収益事業の「うどん・そば屋」については見通しが甘かった感はあるが、ヤマザキショップ豊栄駅店については安定した黒字経営をしており評価できる。</p>
課題及び改善すべき事柄	<p>新規収益事業として経営を始めた「うどん・そば屋」については赤字経営となっているため、今後の経営については厳正な見極めが必要である。</p>
今後の指導方針	<p>新規収益事業においては、安定した経営とするためにも具体的なアクションプランのもとで実施し、財政基盤の確立が進むよう引き続き必要な措置を求めていく。</p>

【今後の取組み】

	<p>地域全体の物流をつくる（ブランド化によるまちづくり、賑わい創出）</p>
	<p>ヤマザキショップ豊栄駅店の黒字経営を維持する</p>
	<p>中長期計画に掲げた事業毎に具体的なアクションプランを作成する</p>
	<p>新規収益事業の経営安定化を目指すとともに、採算が取れない場合の撤退時期の見極める</p>

【総合評価】

概ね良好	改善の余地がある	改善が必要	抜本的な対応が必要
総括的な所見			
<p>収益改善が課題となっていたうどん・そば店は業績回復に至らず、8月以降は店舗の委託先を探しながらの短縮営業に切り替えることとなった。また、その業績不振が収支に響き、23年度は大幅な赤字決算となっている。厳しい財政状況のなかYショップに関しては、Suicaの導入により黒字確保できたことは評価できる。</p>			
今後の取組みに対する評価，改善指示事項			
<p>収支回復に向けて、ブランド化によるまちづくり、販い創出事業を具体的なアクションプランを作成するとともに、早期に実施することが必要である。</p> <p>団体は本来豊栄地区のまちなか活性化を目的としたものであるが、近年の状況を見ると収支的にはYショップの収益に頼る部分が多く、活性化が実現されているのか疑問である。今後の団体のあり方についても検討が必要である。</p>			

【総合評価を受けての団体としての決意】

<p>平成24年12月 代表取締役 金城 道夫</p> <p>うどん・そば店の運営方法を変更（直営からテナント契約）して継続するため、契約予定先のラーメン店業者と1月中旬～下旬のオープン予定で契約手続きを進めています。テナント契約料には、店舗の賃借料に加え資産の償却分や初期投資費用（備品購入費、内装経費）を含めた上で提示することで調整を進めています。</p> <p>それと並行し、新規収益事業として着手を検討している「道の駅豊栄」の運営事業については、収益事業としてはもちろんのこと、地域の活性化や観光の拠点としての展開が見込まれるため、従来の計画に基づくアクションプランと併せて取り組んでいきます。</p>
---